



名誉会長(校長)
久信田喜一

同窓会の皆様には日頃本校の教育諸活動にご理解・ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本校は平成二十年三月で卒業生総数五千三百三十九名を数えます。本校発展の基盤は、このような多数の卒業生の皆様のお力によるところが大であると感謝申し上げます。



十一月十六日に開催しました茨城県立佐和高等学校同窓会総会において会員の皆様からご承認をいただき、今期同窓会長を務めさせていただきますことになりました第一回卒業生の甘利でございます。同窓会会報の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

創立から二十数年経過し、同窓会においては、今年三月の第二十回卒業生を加え、会員数五千三百人を超えるまでとなりました。

二十数年といえ、人生のほぼ三分の一にあたる年月であり、人の一生で言えば、生まれ、育ち、そして社会に独り立ちしてゆく時期であります。

我が母校においては、今までまだ新しい学校という感で見られていた部分があるうかと思いますが、今まさに独り立ちをし、

会長挨拶

今後他の伝統のある学校と肩を並べるくらいに発展してゆこうとする時期ではなからうかと感じているところであります。

最近の母校の活躍は、目覚ましいものがあります。

学校生活においては、「さわやかマナーアップ運動」等を実施し地域の模範となるべく生徒一人一人が真摯に活動に取り組んでいるとのこと、我々地域の一員としてこの様な姿を大変誇らしく思っています。

また、部活動においては、様々な大会において幾多の素晴らしい活躍の様子を見てもいい、我々卒業生をも大いに喜ばせてくれております。そして卒業後の進路状況においても、九割以上の生徒が大学や専門学校、様々な企業等に進学、就職をしているとのこと、我々同窓会の会員としてもこの様な後輩たちの活躍を頼もしく感じています。

この様に日々躍進し、また今後ますます発展してゆく母校に対し、PTAの皆様方と共に、同窓会としても大いに後援してゆ

きたいと考えております。

我々同窓会の会員は、それぞれ年代は違いますが、同じ期間を同じ場所で過ごしてきた仲間であり、私としては、同窓会の役割は、今後社会に出て行く生徒たちを我々の仲間として温かく迎え入れてあげることはできないかと考えております。

このようなことから、これからの同窓会の活動として、同窓会員のネットワークを作り、会員相互の交流を深めること、また、在校生がこの学校を卒業して良かったと思えるよう適切な支援を行ってゆくことを理念として参りたいと考えております。

「君の心に聴け」という校訓のもと、慈しまれながら我々の成長を見守っていただいた母校への感謝の意味を込めて、我々同窓会として、母校の発展に貢献してゆきたいと思っております。

結びに、母校茨城県立佐和高等学校の今後ますます発展をご祈念申し上げます。

と、①分かる授業」の展開と家庭学習の深化を通して、基礎・基本の定着と学力のさらなる向上を図る。②きめ細かな進路指導による、生徒一人一人の希望進路の実現を図る。③生徒一人一人を大切に、きめ細かな生徒指導に努め、体験活動・ボランティア活動等を推進して、「心の教育」の充実を図る。④特別活動の充実・部活動の活性化を推進し、特色ある学校づくりに努める。⑤地域・保護者との交流・連携を深め、学校の活性化に努める。以上五点を重点的に指導しております。

同窓会員の皆様には、今後ともご理解・ご支援の程何とぞよろしくお願い申し上げます。



平成二十年十一月十六日(日)茨城県立佐和高等学校同窓会第一回総会が「センチュリープラザNANKA」で行なわれました。

当日は生憎の雨模様にも関わらず百名近い参加がありました。

各地から会場に集まった同窓会の会員は、久しぶりの再会を懐かしむ声を上げておりました。

午前十一時、篠原同窓会副会長の開会宣言の後、甘利同窓会長、続いて名誉会長である久信田現校長から挨拶を頂きました。

久信田校長先生の挨拶の中では、佐和高校の近況を伺うことが出来、母校の活躍に同窓会会員一同、聞き入っております。

その後、議長団の選出が行なわれ、議事へと移りました。

議事では報告並びに三件の議案について審議が行なわれ、全てにおいて可決し、総会は滞りなく終了致しました。

総会終了後、出席会員一同による記念撮影が行なわれ、続いて懇親会が催されました。

懇親会では旧職員、現職員の先生方や同窓会会員の方から近況報告などのお話を頂きました。また、会場脇に設置された展示物のコーナーでは佐和高校の卒業アルバムや周年行事の記念品、学校紹介等のビデオ放映などが行なわれ、終始和やかなムードで進みました。あつという間に終了の時間を迎え、佐和高校及び同窓会会員の今後益々の発展と活躍を祈願して、名残惜しみながらも閉会となりました。

総会／懇親会報告



第1号
平成20年12月16日

同窓会名称及び会報名称について
各名称について、総会終了後のアンケートにて募集し、次のように決定いたしました。

同窓会名称「つつじ」は、佐和高校の校章であり、皆様にとっては懐かしく、親しみやすい花であることと思います。つつじの花の種類は500以上を越えるともいわれ、本会も「つつじ」のように、個性豊かな花を咲かせ、実を結ぶような会へと発展していきたいとの願いを込め採用させて頂きました。

「君の心」は、アンケートで一番多かった校訓から引用しました。「心」とは、会員の皆様自身で、言葉を入れていただくことにより、初めて完成する。また、会員の皆様のその時々的心境や状況により、言葉を変え、当時を懐かしんだり、励みや支えとなるような会報作りをしたい、というこ意味を込めて、つけさせて頂いたままです。

今後は、同窓会「つつじ」、会報「君の心…」をよろしくお願い致します。

現在の学校の状況

茨城県立佐和高等学校
ホームページアドレス <http://www.sawa-h.ed.jp/>

進路

平成十九年度進路合格状況

進学	国立大学 2名 私立大学 90名 短期大学 36名 専修学校 84名 (専門67名、看護17名)	茨城大学 茨城キリスト教、つくば国際、常磐 茨城女子、つくば国際、常磐、文化女子、東京農大 リリー保育福祉、県立産業技術短大、茨城歯科専門、文化デザイナー学院 大原簿記法律、文化服装学院、つくばビジネスカレッジ 水戸医療センター附属看護、土浦共同病院看護、東京医科大学附属霞ヶ浦高等看護	他多数 他多数 他多数 他多数
就職	一般企業 28名 公務員 7名	日本郵政(株)、日立電鉄サービス(株)、日立設備エンジニアリング、(株)伊勢基本社 (株)ヤマダ電機 ひたちなか市消防官、茨城県警察官、東京都消防官、東京都警察官、自衛官	他多数 他多数

部活

平成二十年度の主な記録

野球部	8月	全国高校野球選手権茨城大会 4回戦進出(ベスト16) (対水戸商業高校戦 延長11回 10対11)
吹奏楽部	8月	茨城県吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞(次点) 高校Cの部 銀賞
弓道部	9月	平成20年度関東高等学校弓道個人選手権選抜大会茨城県予選会 女子 10位 飯岡 睦月(2年4組) 女子 12位 小野瀬江梨(2年4組) 平成20年度関東高等学校弓道個人選手権選抜大会出場 (明治神宮至誠館第二弓道場)

平成二十年度全国大会

弓道部	平成20年度全国高等学校弓道選抜大会茨城県予選会 女子個人 優勝 飯岡 睦月(2年4組) 平成20年度全国高等学校弓道選抜大会出場(静岡県武道館弓道場)
フィギュア	第58回全国高等学校スケート競技選手権大会フィギュアの部出場 期 日 平成21年1月18日(日)～1月21日(水) 会 場 「広島ビックウェーブ」 広島市東区牛田新町1丁目8-3 競技種目 フィギュアの部 女子シングルスケート 出 場 者 照沼 里菜(2年1組)



新役員紹介

会長	甘利 浩行(二回生)
副会長	國井 丈尚(二回生)
書記	篠原 隆人(三回生)
書記	千葉 伸子(二回生)
会計	鈴木 晃(二回生)
監査	照沼 雄介(二回生)
	小西 清美(三回生)
	関 佳子(三回生)
	外井 禎久(二回生)
	菊池 則夫(二回生)



この度の同窓会総会並びに懇親会の開催に際し、案内通知が届かなかった会員の方々には、誠に申し訳なく思っており、心よりお詫び申し上げます。

同窓会では、平成十六年度に同窓会会員名簿を発行いたしました。その際、住所の確認が取れなかった方、その後、住所変更をされた方々につきましては、宛先不明となっております。また、会員名簿作成の際に「住所を掲載しない」と希望された方々についても住所の確認が取れない状態となっております。

このことから、同窓会では同窓会会員名簿を基にデータを作成し、継続して整備を行なっていくため、総会で事業案・予算案に計上し、提案させていただきます、可決されました。

つきましては、今後、会員の方々の現住所の追跡調査を行ってまいりたいと思っておりますので、お名前の変更や住所の異動等があった場合は、同封しました「変更届」によりご報告くださるようお願いいたします。また、お知らせの方で前述などの理由により住所の確認が取れない方がいる場合は、同封の「変更届」をご利用いただくか、「佐和高校ホームページ」(アドレスは上部に記載・同窓会からのお知らせ)から様式をダウンロードしていただき、学校あてに送付くださるようお願い申し上げます。

(申し訳ありませんが、この場合郵送費用は自己負担となりますのでご了承ください。)

日頃より同窓会活動にご協力頂き有難うございます。

これまで同窓会として目立った活動が出来ず会員の皆様には大変申し訳ありませんでした。

今回、同窓会総会及び同窓会会報第一号を発行出来ましたことを大変喜んでおります。

また、今回の総会や会報が学年毎の同窓会やクラス会の切っ掛けになってくれればとても嬉しいのです。

そして、今後この会報が何十年と継続され、佐和高校同窓会員の絆になって行ければ尚一層嬉しいのです。

その為にも、今後益々同窓会活動が活発になるよう、役員一同精一杯努力致しますので、会員の皆様におかれましては尚一層のご協力をお願い致します。

最後になりましたが今回同窓会会報に当り名誉会長をはじめ佐和高校の先生方には快くご寄稿賜り、心から感謝申し上げます。

役員一同

同窓会からのお詫びとお願ひ

編集後記

平成十二年十一月 タイムカプセル開封式が佐和高校で開催されました。このタイムカプセルは、佐和高校一期が入学当時に埋めたもので、十五年ぶりの開封となりました。

同窓生の皆様は十五年ぶりの再会に旧交を深めていた模様です。

同窓会からも役員数名が開封式に出席したほか、開封式補助金の交付や準備委員会への人的支援を行いました。

タイムカプセル開封式



10周年記念品

同窓会からの記念品
(図書室エアコン)



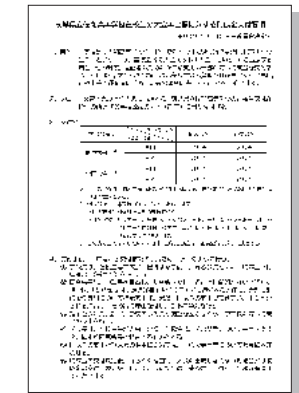
同窓会からの記念品
(プラズマディスプレイ・縦帳)



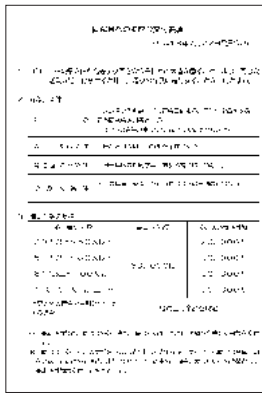
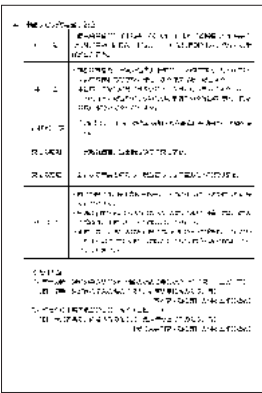
20周年記念品

同窓会正規会員入会状況

No.	年 月	項 目	入会者数	備 考 (入会金)	No.	年 月	項 目	入会者数	備 考 (入会金)
1	S 63/3	第 1 回生	277名	1,385,000	12	H 11/3	第12回生	233名	1,165,000
2	H 11/3	第 2 回生	273名	1,365,000	13	H 12/3	第13回生	240名	1,200,000
3	H 2/3	第 3 回生	273名	1,365,000	14	H 13/3	第14回生	236名	1,180,000
4	H 3/3	第 4 回生	317名	1,585,000	15	H 14/3	第15回生	241名	1,205,000
5	H 4/3	第 5 回生	273名	1,365,000	16	H 15/3	第16回生	236名	1,180,000
6	H 5/3	第 6 回生	279名	1,395,000	17	H 16/3	第17回生	235名	1,175,000
7	H 6/3	第 7 回生	261名	1,305,000	18	H 17/3	第18回生	234名	1,170,000
8	H 7/3	第 8 回生	263名	1,315,000	19	H 18/3	第19回生	238名	1,190,000
9	H 8/3	第 9 回生	259名	1,295,000	20	H 19/3	第20回生	234名	1,170,000
10	H 9/3	第10回生	253名	1,265,000	21	H 20/3	第21回生	234名	1,170,000
11	H 10/3	第11回生	250名	1,250,000	合 計			5,339名	26,695,000



一、佐和高校発展に貢献するための事業として、平成二十年六月に『茨城県立佐和高等学校在校生の大会出場に対する助成金交付要項』を制定
(平成二十年第一回役員会決定事項)



一、同窓会会員相互の親睦を図るための活動として、平成十八年七月に『同窓会助成金交付要項』を制定
(平成十八年第一回役員会決定事項)

助成金制度の紹介

及びこれまでの交付状況報告

各要項・様式については佐和高校ホームページからダウンロード出来ます。

全国大会等出場に対する助成金交付状況

番号	氏名・団体名	学年	大会別	大会等名称	開催地	団体・個人別	交付額	交付月日
1	黒澤 一成	3	全国	第20回全国高校将棋竜王戦	福岡県	個	50,000	H19.8
2	米川祐太郎	3	全国	H19高校総体(弓道)	佐賀県	個	50,000	H19.8
3	照沼 里菜	1	全国	第57回全国高等学校スケート競技選手権大会	山梨県	個	50,000	H20.1
4	伊多波陽子	3	全国	第32回全国高等学校総合文化祭(絵画)	群馬県	個	50,000	H20.8
5	弓道部(2名)	2	関東	第27回関東高等学校弓道選手権大会	東京都	団	50,000	H20.9



第三十二回全国高等学校総合文化祭
(べんま総文) 三年 伊多波陽子

同窓会活動経緯

佐和高校創立 十周年記念式典

平成六年十一月 佐和高校創立十周年記念式典がひたなか市文化会館で執り行われました。

式典の他にも記念事業として作家の紙津カンナさんの講演会が行なわれました。

同窓会からも役員数名が式典に出席したほか、式典補助金の交付や式典準備委員会への人的支援、記念品の寄贈を行いました。

また、十周年記念事業に合わせて同窓会会員名簿(千三百部)も発行しました。

佐和高校創立 二十周年記念式典



平成十六年十一月 佐和高校創立二十周年記念式典が佐和高校体育館で盛大に執り行われました。式典では、吹奏楽部による記念演奏が行なわれるなど非常に盛り上がる式典となりました。

式典の他にも記念事業としてアルピニストの野口健さんの講演会が行なわれました。

同窓会からも会長を始め役員数名が式典に出席しました。式典においては、会長が祝辞を述べたほか、式典補助金の交付や式典準備委員会への人的支援、記念品の寄贈を行いました。

また、二十周年記念事業に合わせて同窓会会員名簿(千三百部)も発行しました。

今後とも同窓会として三十周年、四十周年と母校への協力をして行きたいと思っています。

一、集合

生憎の空模様、冬の冷たい雨の降る中を佐和高校同窓会第一回総会に参加する面々が会場である『センチュリープラザNANKA』に各地より集まり始めます。年齢的に第一線で活躍されている同窓生が大半で、大変忙しい中わざわざ時間を割いて頂き、百名近い同窓生の総会への参加を得た事は、大変嬉しい事です。

各地から集まった同窓生は各々久しぶりの再会を喜び、懐かしみながら総会開会までの一時を過ごしているようでした。

二、開会

午前十一時過ぎ、多少遅れましたが無事に総会の開会となりました。篠原同窓会副会長の開会宣言の後、まずは甘利同窓会会長の挨拶がありました。挨拶の中で、同窓会の今までの活動及び同窓会としてのあり方等の話がありました。同窓会会長としての母校を想う気持ちが溢れる素晴らしい挨拶で、一同感じ入るところがあったようです。

続いて名誉会長である久信田校長先生より挨拶を頂きました。久信田校長先生からは同窓生が一番気になる事であろう母校の近況を聞くことが出来ました。同窓生一同、佐和高校の最近の様子に興味深く耳を傾け、益々の活躍を聞き目を細めていました。

三、議事

会長、名誉会長の挨拶の後、議長団の選出となりました。議長団の選出方法につきましては会場から『同窓会事務局から推薦してほしい』との声が上がりましたので、事務局から二回生の平川さん、同じく二回

四、写真

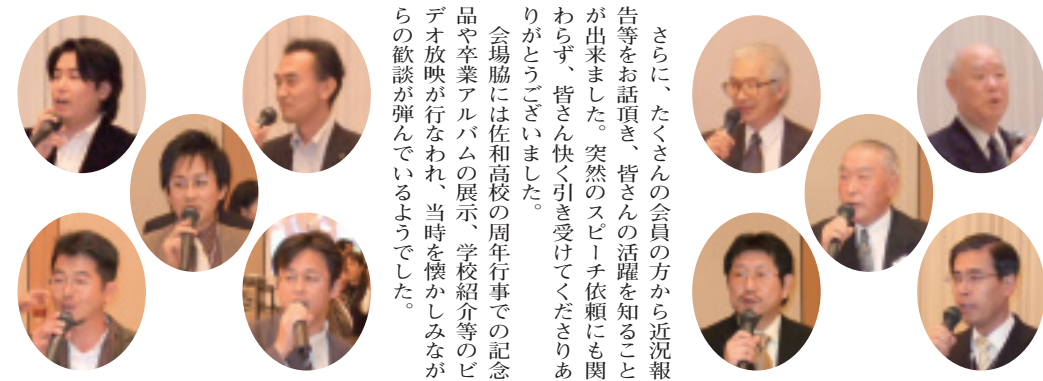
総会終了後、一同は別室に移動し、記念撮影となりました。予想以上の出席者のため、集合写真はとてにぎやかなものとなりました。総会の成功を印象付けるものとなりました。



五、懇親会

総会終了後はお待ちかねの懇親会です。こちらを主目的で参加された同窓生も多く、総会よりも人数が増え、百名を越す参加となりました。出席頂いた旧職員を代表しての富田初代教頭先生の挨拶のあと、久信田校長先生のご発声にて乾杯、用意され

た料理や飲み物を楽しみながらの歓談となりました。和やかなムードの中、旧職員の小松教頭先生及び高橋先生からも言葉をお聞きする事が出来ました。また、現職員の先生方からは、佐和高校の現在の生徒の様子や学校の取り組み、部活動の成果などのお話とおして、先生方の熱い情熱を感じることが出来、同窓生として大変嬉しく思いました。



さらに、たくさんの方から近況報告等をお話頂き、皆さんの活躍を知ることが出来ました。突然のスピーチ依頼にも関わらず、皆さん快く引き受けてくださりありがとうございました。

会場には佐和高校の周年行事での記念品や卒業アルバムの展示、学校紹介等のビデオ放映が行なわれ、当時は懐かしみながらの歓談が弾んでいるようでした。

六、解散

楽しい時間はすぐに過ぎてしまうもので、あっという間に懇親会も終了となってしまいました。総会の開催にあたり、同窓会と学校との橋渡し役に尽力頂いた、渉外部長の鈴木先生より閉会の挨拶、野球部監督の坂本先生による気合の入った、素晴らしい氣勢に合わせた同窓生一同の合唱によって、佐和高校及び同窓生一同の今後の健康と更なる発展を祈願しつつ、名残惜しいながらも閉会となりました。閉会後は、各自さらに親睦を深めべく他所で集まる方や、写真を撮る方も多かったようです。



七、会員の声

当日、事務局よりアンケートをお願いしましたところ、多数の貴重なご意見をいただきました。多くの方から『楽しい時間を過ごすことが出来た』『久しぶりの懐かしい人と会えた』『佐和高校の近況を知ることが出来た』等、好意的な感想を頂き、同窓会役員一同、喜びと共にほっと胸をなでおろす思いです。また、『旧職員や同窓生がもっと参加していると良かった』とのご意見も頂き、今後の課題として、次の総会ではもっと多くの会員の方に参加頂けるよう、役員一同、一層の努力をしてまいります。